

ICTで 授業 をDX！

学年 中学校3年 教科 特別の教科道徳 など

Teamsで意見交流や発表も活性化！

使用するアプリケーション等

・Microsoft Teams
(以下Teams)

単元・題材 1 4 「言葉の向こうに」

本時の目標 相手の気持ちを考えた行動を考えよう。

ICTを活用することで できること

- ・Teamsの機能の一つ「Microsoft Forms」を活用することにより、自分の意見を他者にオートマチックに表現することができる。これはIDで管理されているため匿名性はほぼ無い。集計結果を円グラフで見ることができ、自分の心情と全体を容易に比較することができる。
- ・「yes」「No」だけの集計はもちろん、記述に関しても閲覧できるので常時他者の意見と自分の意見を交換することができ自らの意思で多面的・多角的かつ対話的な思考を得ることができる。
- ・全体の前で挙手・発言が苦手な生徒やリモートで参加している生徒も交流が可能のため非常に有意義であるとする。

DX前（ICTを使っていなかった頃は・・・）

1 導入

- ① 教師が発問を提示し板書を行い、ノートに記述する。
(何事も少数派になるのは嫌だ) (大人数の前でも自分の意見を述べるができる。)
- ② 時間をおいて、挙手による発表をし意見を交流させる。

2 展開

本時の目標： 相手の気持ちを考えた行動をするためにはどうすればよいか考えよう。

- ① 教材「言葉の向こうに」を読み、考える。
- ② 「私」は「いちばん大事なことを忘れていた。」と言っているが、どんなことを忘れていたのだろう。
 - 道徳ノートに記述し、班もしくは全体で発表を行い意見交流を行う。
 - 教師が黒板に記入する。
- ③ 相手の気持ちを考えた行動とは、どんなものだろう。
 - 道徳ノートに記述し、班もしくは全体で発表を行い意見交流を行う。
 - 教師が黒板に記入する。

3 まとめ

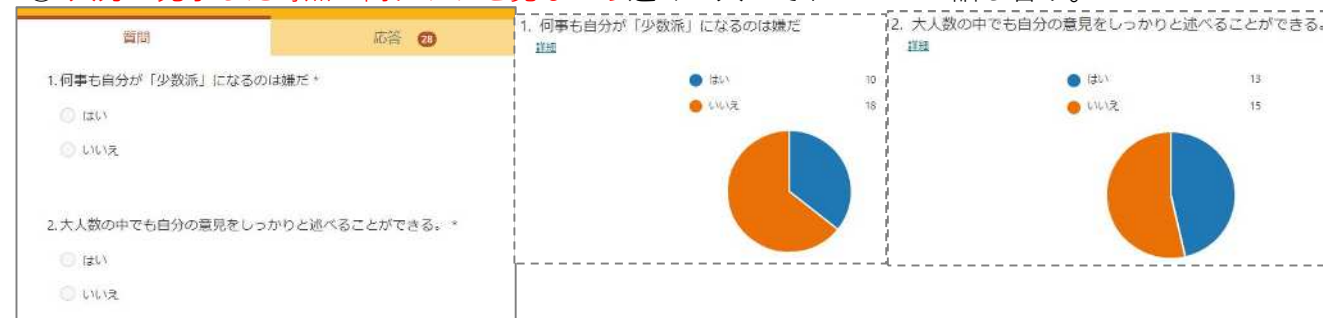
全体の意見を踏まえ、教師の体験談を交えながらまとめる。

DX!

DX後（赤字はICT活用場面）

1 導入

- ① 予め、教師がMicrosoft Formsを作成し共有URLを掲示板上に投稿しアクセスさせる。
(何事も少数派になるのは嫌だ) (大人数の前でも自分の意見を述べるができる。)
- ② 入力完了した時点で円グラフを見ながら近くの人とそれについて話し合う。



2 展開

本時の目標：相手の気持ちを考えた行動を考えよう。

- ① 教材「言葉の向こうに」を読み、考える。
- ② 「私」は「いちばん大事なことを忘れていた。」と言っているが、どんなことを忘れていたのだろう。
 - 予め作成しておいたMicrosoft FormsのURLを掲示板上にて共有し、入力させる。
 - 教師も入力する。

- ③ 相手の気持ちを考えた行動とは、どんなものだろう。

- 予め作成しておいたMicrosoft FormsのURLを掲示板上にて共有し、入力させる。
- 教師も入力する。

3 まとめ

- ① 『展開』②③とくに③について結果を見ながら周りとは話し合いをする。
- ② 教師が体験談を話す。

授業者から（成果・課題・留意点）

- ・意見を入力することにより、思考・発言・発表が1つにまとまり交流の時間が多くとることができた。
- ・端末の操作に不慣れな生徒でも入力作業なので慣れれば簡単にできるようになった。
- ・IDは出現するが、個人名が表示されないので自由な発言が可能な半面、まさに本時の内容を常に考えながら発言をしなければならないので、指導が必要である。
- ・Microsoft Formsの機能はまだ多くありその他のアプリもあるのでより挑戦して、今までよりも効果的な教育を行いたい。